

# 令和5年度

## 海上保安庁関係補正予算配分概要

### 目 次

I. 令和5年度海上保安庁関係補正予算配分方針	1
II. 令和5年度補正予算配分総括表	1
III. 事業別概要	2
IV. 管区海上保安部等別配分額	3
V. 配分箇所具体事例	4

令和5年11月

## I. 令和5年度海上保安庁関係補正予算配分方針

令和5年度船舶交通安全基盤整備事業補正予算については、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」（令和5年11月2日閣議決定）に基づき、海上保安能力の強化等及び防災・減災、国土強靱化の推進事業に配分する。

## II. 令和5年度補正予算配分総括表

[総事業費]

(単位：百万円)

区 分	国土強靱化、防災・減災など国民の安全・安心を確保する	防災・減災、国土強靱化の推進	追加財政需要	合 計
	本省配分	本省配分	本省配分	
船舶交通安全基盤整備事業	6,091	625	1,408	7,499
直轄	6,091	625	1,408	7,499

(注) 防災・減災、国土強靱化の推進には、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策分のほか、国土強靱化緊急対応分を含む。

○海上保安能力の強化等

【巡視船等基地の整備】

巡視船等が安定的に係留する棧橋を整備する。



【巡視艇の代替整備】

老朽化した巡視艇を代替整備する。



【原油価格高騰に伴う燃料費の確保】

船艇の運航に必要な燃料費を確保する。

○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進

【走錨事故等防止対策】

臨海部施設周辺海域、特定港及び船舶がふくそうする海域等に監視カメラやレーダーを設置し、海域監視体制の強化を図り走錨等に起因する重大事故を未然に防止する。



監視カメラの整備



レーダーの整備

【航路標識の耐災害性強化対策】

航路標識の耐災害性強化を図り、船舶交通の安全を確保するための対策を講じる。

<海水浸入防止対策>



基礎部亀裂補修  
(環境遮断)

<電源喪失対策>



太陽電池化



蓄電池の増設

【航路標識の老朽化等対策】

航路標識の倒壊、損壊等の被害に対応するため、長寿命化のための整備を着実に実施し、航路標識の老朽化等対策を図る。



外壁補修



防水工事

<信頼性向上対策>



耐波浪型LED灯器等の整備

<監視体制強化対策>



クラウド監視装置の導入

#### IV. 管区海上保安本部等別配分額

[直轄事業]

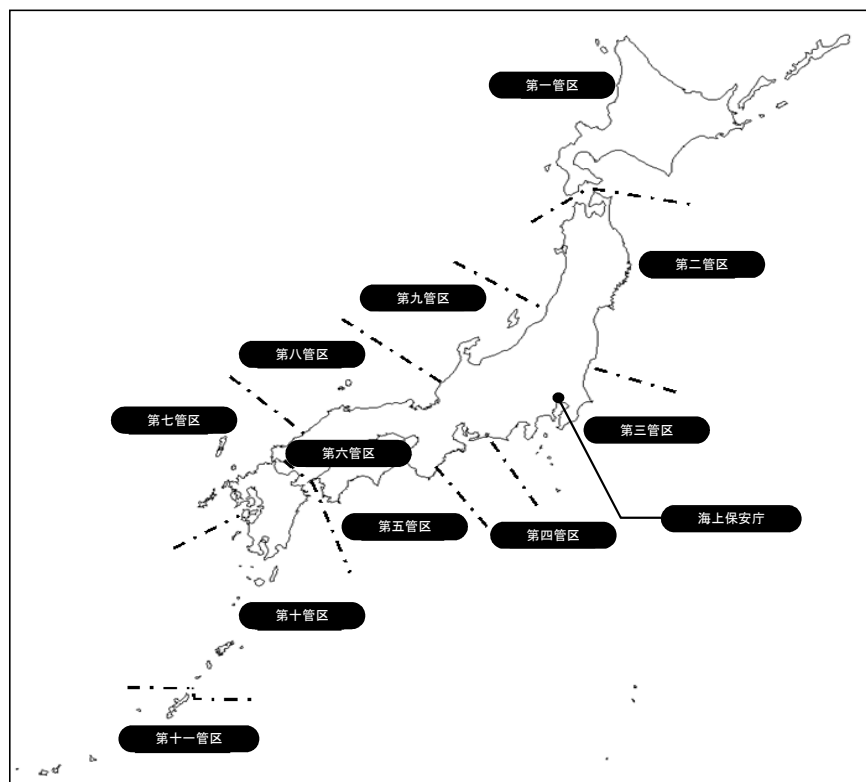
(単位：百万円)

区 分	事業箇所数	船舶交通安全基盤整備事業	
			防災・減災、国土強靱化の推進
海上保安庁	0	5,095	0
第一管区海上保安本部	3	105	20
第二管区海上保安本部	9	129	118
第三管区海上保安本部	3	564	66
第四管区海上保安本部	5	211	34
第五管区海上保安本部	8	339	27
第六管区海上保安本部	12	164	108
第七管区海上保安本部	14	270	56
第八管区海上保安本部	2	22	22
第九管区海上保安本部	3	131	115
第十管区海上保安本部	5	60	30
第十一管区海上保安本部	2	409	29
合 計	66	7,499	625

※防災・減災、国土強靱化の推進には、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策分のほか、国土強靱化緊急対応分を含む。

※維持管理費については、事業箇所に計上していない。

※端数処理の関係で、合計額は必ずしも一致しない。



## V. 配分箇所の具体事例

国土強靱化、防災・減災など国民の安全・安心を確保する

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
広島県 (呉市)	呉港船舶交通安全基 盤整備事業	百万円 54	「海上保安能力強化に関する方針」を踏まえ、海上保安能力を着実に強化していくため、必要となる人材の確保・育成や教育訓練施設の拡充等を進めているところ、呉港に就役予定の大型練習船1隻が安定的に係留可能な棧橋の整備を実施するもの。
宮城県 (石巻市)	早崎船舶交通安全基 盤整備事業	34	激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、航路標識の老朽化等対策を推進し、船舶交通の安全確保を図る。